



クロマグロ

太平洋

主な漁業と漁期

曳縄・定置網: 周年(未成魚)
まき網: 夏～秋(未成魚・成魚)
はえ縄: 春(成魚)

生態

本まぐろとも呼ばれ、トロがとれることから寿司や刺身の高級食材となっています。

●分布・回遊

主に北緯20～40°の温帯域に分布します。0～1歳魚は日本沿岸を夏季に北上し、冬期に南下します。2～3歳魚は北西太平洋を時計回りに回遊するパターンが確認されていますが、同じ場所に留まるパターンもあり個体により異なります。未成魚の一部は太平洋を横断し、東部太平洋に渡る個体もいます。成魚は、産卵期には南西諸島周辺～台湾東沖または日本海南西部、産卵後は太平洋北部に索餌回遊します。

●産卵期・産卵場

4～7月: 日本南方～台湾沖
7～8月: 日本海西部

●成長・成熟

成長は早く1歳で体長60cm程度、2歳で90cm程度になり、5歳では160cm程度に達します。その後の成長速度は鈍くなり、8歳で200cm、12歳で226cmになり、寿命は20歳以上と考えられています。

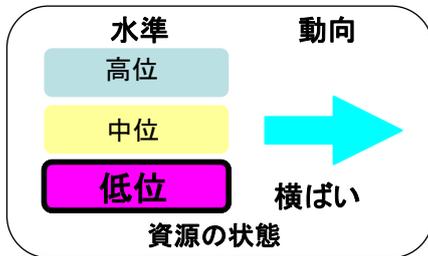
成熟サイズは分布海域によって異なり、日本南方～台湾沖では体重60kg(5歳魚)以上の個体で、日本海では体重30kg(3歳魚)以上の個体と考えられています。



0歳魚(体長30cm程度)

漁業・資源動向

【資源】



- 2016年の資源評価では、親魚資源量は1990年代中ごろのピークから2010年まで徐々に減少した後、依然として歴史的低位水準にあるものの、現在では減少傾向に歯止めがかかっているとされています。
- 日本では2015年1月から、30kg未満小型魚の漁獲量半減措置(8,015トン→4,007トン)に取り組んでおり、現在の第3管理期間(2018年5月現在)は、大中型まき網漁業や近海竿釣りなどの沖合漁業の漁獲上限を2,000トン、曳き縄、定置網、一本釣り等の沿岸漁業の漁獲上限を2,007トンとして、全国を6ブロックに分けて管理しています。

《国の資源評価へのリンクはこちら》

要約

http://kokushi.fra.go.jp/H29/H29_04S.pdf

詳細

http://kokushi.fra.go.jp/H29/H29_04.pdf

【漁業】

- 2001年以降、太平洋全体では年間1.1～2.9万トン、日本では年間0.6～2.1万トンの漁獲量で推移しています(図上)。また、静岡県の水揚量(遠洋漁業除く)は、7～314トンで推移しています(図下)。
- 静岡県沿岸では、曳縄と沿岸竿釣りによって未成魚が、定置網によって成魚と未成魚が漁獲されます。

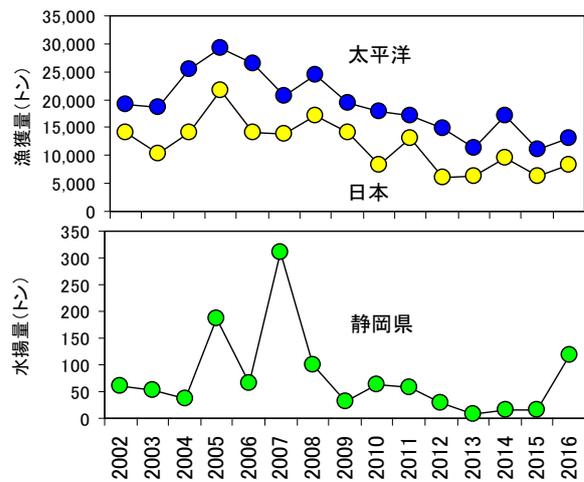


図 太平洋と日本のクロマグロ漁獲量推移(上)と静岡県のクロマグロの水揚げ量の推移(下)

担当者の一言: 静岡県沿岸では「本めじ」「まめじ」「よこわ」と呼ばれる0～1歳が漁獲され、刺身用として流通します。

問合せ先

静岡県水産技術研究所資源海洋科 054-627-1817